

年号 (西暦)	おもなできごと
明治 29 年 (1896)	大住・洵綾両郡を合併して中郡と改め、郡役所を大磯町に置く。 伊藤博文、大磯町に滄浪閣を建て、町民となる。
明治 33 年 (1900)	大磯町に電気供給開始。
明治 35 年 (1902)	大磯郵便局、電話交換業務の取り扱いを開始(加入者：10戸)
明治 36 年 (1903)	大磯漁業組合が設立される(現在の大磯町漁業協同組合)。
明治 40 年 (1907)	国府村に電気供給開始。
大正 12 年 (1923)	関東大震災(死傷行方不明約245人、家屋全・半壊約1,025戸)。
大正 15 年 (1926)	大磯小学校に大磯幼稚園を併設。 中郡役所廃止。
昭和 2 年 (1927)	大磯小学校に町立大磯実科高等女学校(現県立大磯高等学校)を併設。
昭和 11 年 (1936)	江の島入口・大磯間の湘南遊歩道路開通。
昭和 9 年 (1934)	県営水道、大磯の一部に給水開始。
昭和 11 年 (1936)	照ヶ崎海岸にプール完成。
昭和 15 年 (1940)	国府郵便局開局。
昭和 20 年 (1945)	米軍機の空襲を受け、寺坂地区の大半を焼失。
昭和 22 年 (1947)	エリザベス・サンダースホーム設立。
昭和 23 年 (1948)	町立図書館開館。
昭和 27 年 (1952)	国府村は国府町となる。 教育委員会設置。
昭和 29 年 (1954)	大磯カーニバル始まる。 大磯町と国府町が合併、大磯町となる。
昭和 30 年 (1955)	町立国府保育園開園。
昭和 31 年 (1956)	二宮英雄選手がメルボルンオリンピックに出場。 大磯文化史発刊。
昭和 34 年 (1959)	町立国府幼稚園開園。
昭和 35 年 (1960)	大磯町商工会が設立される。
昭和 38 年 (1963)	大磯バイパス完成。
昭和 39 年 (1964)	大磯ホテルが東京オリンピックのヨット選手村となる。 町章制定。
昭和 41 年 (1966)	西湘バイパス大磯地区が開通。
昭和 43 年 (1968)	消防署開署。 米国オハイオ州デイトン市と姉妹都市を締結。